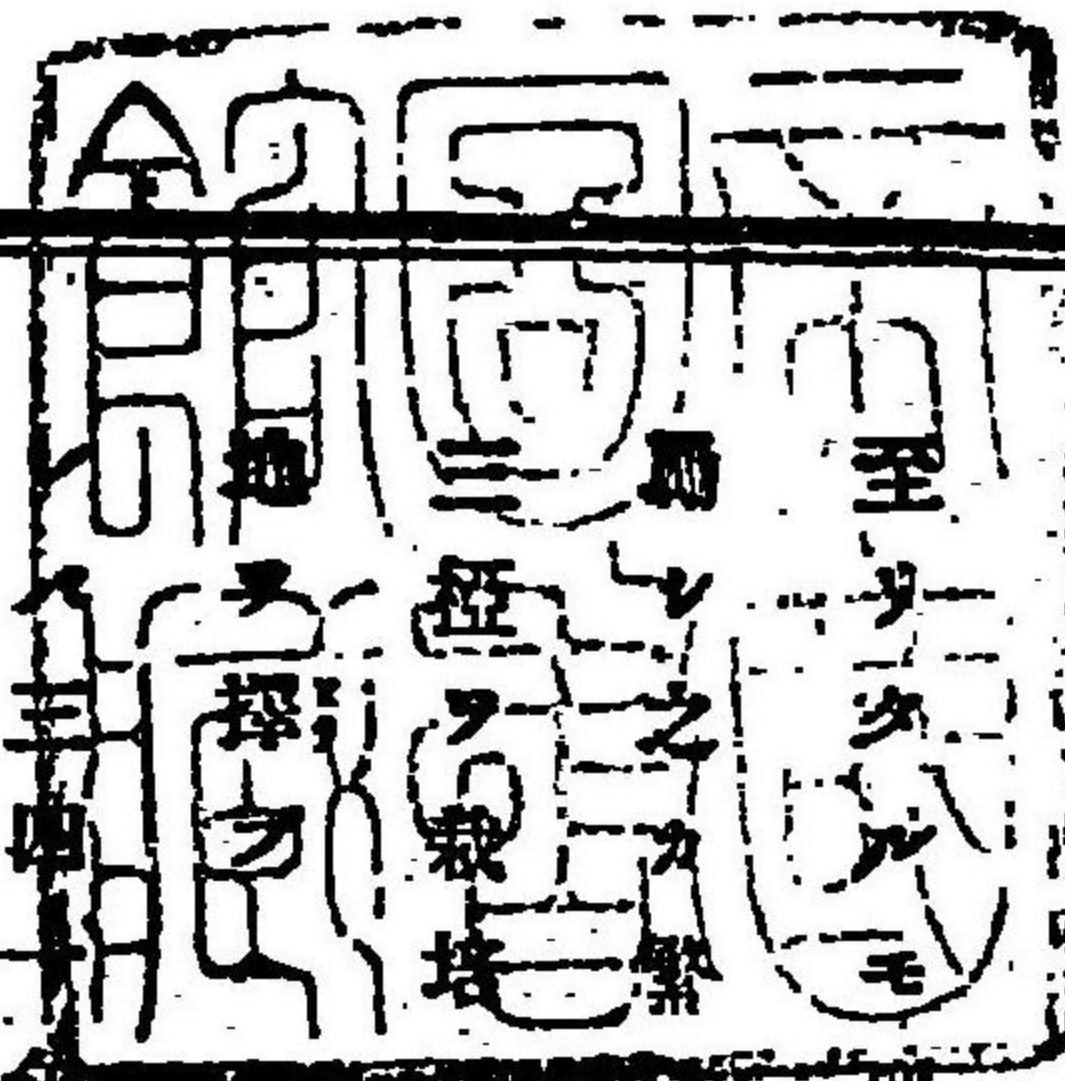


工ト3S-51

40-557



三極栽培要録

三極最上ノ製紙原料ニシテ需用多ク販路極メテ廣シ明治廿

キハ供給ニ不足ヲ告ケ價格非常ニ騰貴セリ今春尙黒皮豊駐(三拾貫)ノ

價金九圓内外ニアリ近年他縣下ニ於テモ之カ栽培ヲナシ産出多キニ

至ラサルモ到底需用ヲ充スニ足ラス宜シク今日ニ於テ大ニ栽培ヲ奨

励シ之カ繁殖ヲ計圖スヘキナリ

三極ノ栽培スルニハ肥沃ナル廣漠ノ土地ヲ要ス故ニ山野等ニシテ適

地ヲ擇フ土地ノ適否ニヨリ收穫ニ多少ノ差ヲ生ス適地ニ栽培ス

ベシトシテ十年ノ久シキヲ保テ大差ナク收穫スルヲ得ルモ不適地ニ至

ラテハ僅カニ數年ニシテ枯死ス土質ノ探定ハ栽培者ニハ經濟上至大

ノ關係ヲ有スルモノナレハ決シテ忽ニスヘナラス初作者ハ經驗アル

モノニ鑑定ヲ爲サシメ然ル後栽植ニ若手スヘシ而シテ三極栽培ノ適

地ハ小石交リニシテ肥タル山地ヲ可トス



三極ニ青木赤木ノ貳種アリ又方言るぶ三極ト稱スルアリ是ハ内外皮
 共極メテ粗惡ニシテ製紙ノ原料トスルニ適セズ赤木ハ青木ヨリ質少
 シク劣リ枝下短ク外皮厚クシテ粗硬ナリ青木ハ幹長シ枝數少ナク異
 皮多クシテ外皮少ナシ故ニ栽培者ハ青木ヲ擇フヲ可トス元來三極ハ
 土質ニヨリテ外見反其質ニ至ル迄幾分ノ差異ヲ來スモ物ナレハ尙他
 ニ種類アルヘシ現ニ大分縣人某ノ説ニハ青赤ノ外自木ノ名アリ然レ
 余カ地方ニテハ未タ見聞セズ
 三極種子ヲ採收セントセハ植付ヨリ五年乃至拾年頃ノ株ニツキ六月
 中旬ヨリ七月上旬ニ濟リ採收スヘシ採收シタル花實ハ日光ノ射入
 タル土間へ五寸厚位ニ收置シ(熱度ノ起ラナル採時々攪拌スヘシ)十四
 五日ヲ經ルルハ外皮自ラ腐敗シ來ル此際桶中ニ入レ水ヲ加ヘ能ク攪
 拌シ尙水ニテ洗淨スレハ外皮ハ去リ全ク種子ノミナル之ヲ攪ニ
 獨ケ水分ヲ去リ椽下等温氣少ナク又乾燥ニ過ヤナル地ヲ掘リ細砂ヲ

種子ト等分ニ混合シテ貯藏シ翌年播種季ニ至リ掘出シ水ニテ洗ヒ其
 浮キタルモノヲ捨テ沈ミタル良種ヲ播種スヘシ
 種子ヲ遠路ニ輸送スルノ季節ハ一月下旬ヨリ二月中旬ヲ最モ可トス故
 ニ購買者ハ容器ノ儘直チニ二尺以下ノ土中ニ埋メ置キ播種ノ季節ヲ
 待ツベシ
 三極ノ種子ハ銀色ナル小粒ニシテ一升凡ツ三万粒位アルモノトス我
 地方ニ於ケル播種法ハ大小麥ノ生長シアル畝間ニ溝ヲ作り可成薄ク
 播下シ其上ニ輕ク土ヲ覆フ瘠地ナルルハ
 薄キ水肥ヲ播種二日前ニ施シ置クベシ其
 季節ハ三月ヨリ四月迄トス種子一升ヲ凡
 五十坪ニ播下シ此ヨリ良苗一万五千本ヲ
 得ヘシ生育ノ善キモノハ二万本ヲ得ルコ
 ト難カラス

圖播ヲ子種ニ聞畑麥



苗畑ハ地層深キ所ハ適當セズ小石交リノ地層淺キ所ヲ撰フベシ如新
 地へ播種シ上肥ヲナストキハ小根多キ良苗ヲ得移植シテ生長最モ宜
 シ
 播種シテ后チ麥ヲ刈取ルトキニハ悉ク發生シ何レモ二寸位ニ生長シ
 較枚ノ細葉ヲ生シ居ルモノナレハ快晴ノ日午後ニ麥ノ莖根ヲ切起シ
 人尿ノ稀薄ナルモノ(人尿一斗ヲ水六斗ニ混加ス)ヲ日没后ニ施スベシ
 後チ十五六日ヲ經テ除草シ淺ク中耕スベシ此際厚キ所ハ拔去リ白水
 肥ヲ施シ七月下旬ニ至リ又中耕シ畝間ニ新草又ハ麥稈ヲ敷キ夏土用
 ヲ過キ又水肥ヲ施シ雜草ヲ除去スヘシ(雜草ハ時々除去スルヲ可トス)
 斯クテ翌年ニ至レハ長サ一尺乃至二尺ノ良苗ヲ得此畑取リハ二月下
 旬ヨリ迄スベク若シ遅ク移植セントスルカ又ハ他地方へ輸送セント
 スルトキニハ早ク掘取リ假植シ置クベシ假植ハ可成薄ク且直立ニナ
 スヲ可トス又早ク移植セントスルモノハ可成晚ク掘取リ或ハ苗畑ヨ

リ毀取ナカラ植ユルモヨトス
 植付ハ春三月中旬ヨリ四月中旬迄トス山地壹坪大約十五六株以上ト
 シ一反歩五千本乃至六千本ヲ植ユルヲ得ヘ上等ノ苗ハ壹株壹本ツ
 ツ植エヘキモ細小ナル苗ハ二本ツ、植ユヘシ植付ノ日ハ雨后天ヲ良ト
 スレモ先ツ雨天ヲ除クノ外ハ差支ナレ
 植付ニ注意ヲ缺クトキハ生育宜シカラス丁寧
 ニスヘキナリ特ニ苗根ノ屈折セサル様ニスヘ
 シ又植付ノ際一株毎ニ石灰一握ツ、施スハ可之
 ナリト云フ
 耕作ハ春夏ノ二回トス耕作ニ到ナラサレハ
 良皮ヲ産出スル難シ如何トナレハ蔓草類ノ如キ一ト度三程ノ外皮ニ
 固着スレハ深ク鋤ヒ入りテ白皮ニ製スル際其傷圓レ層物トナル初年
 ノ耕作ハ特ニ植付后四十日斗ヲ經テ薄ク耕勸シ又五十日斗ヲ過テ同

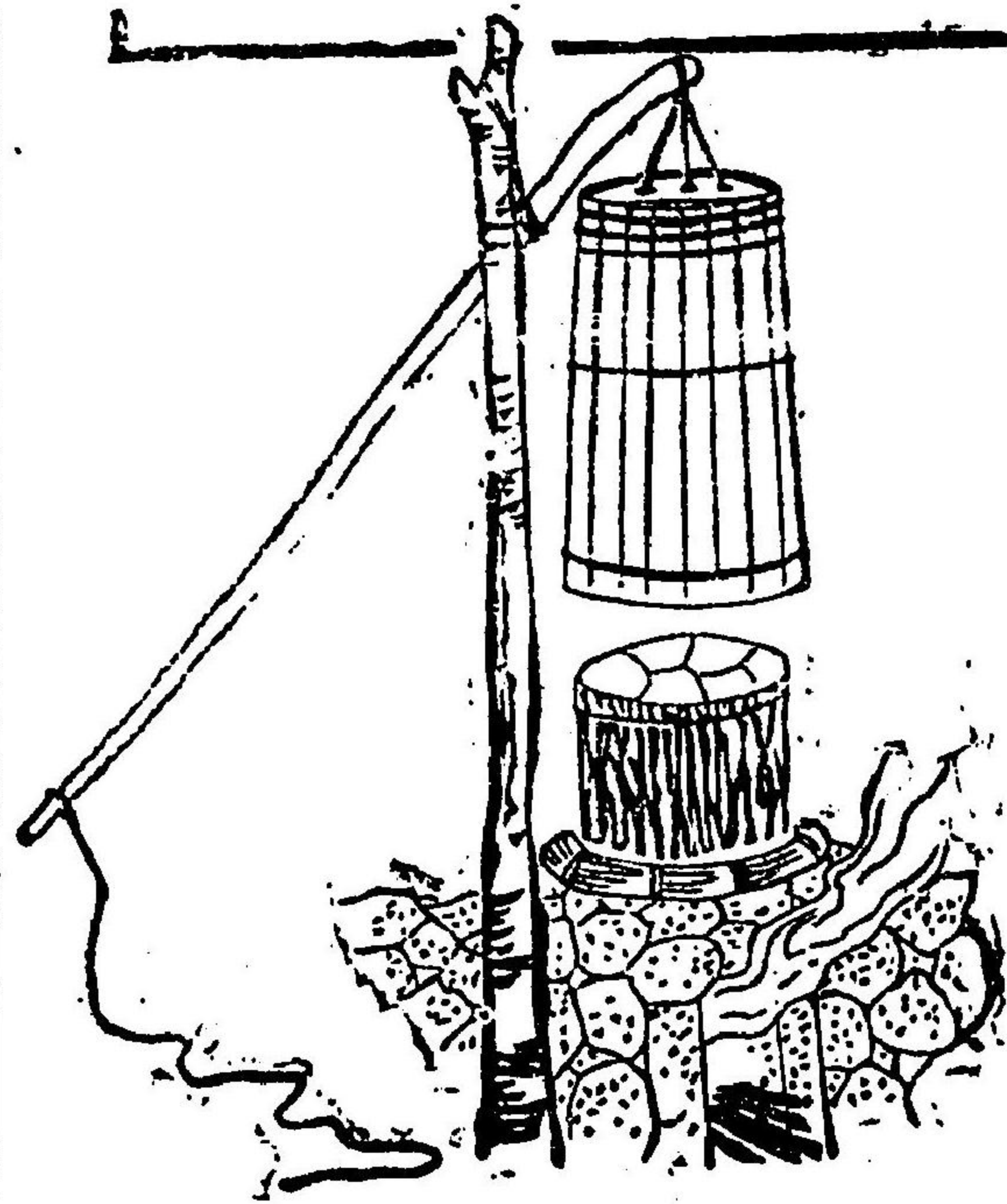


植付圖

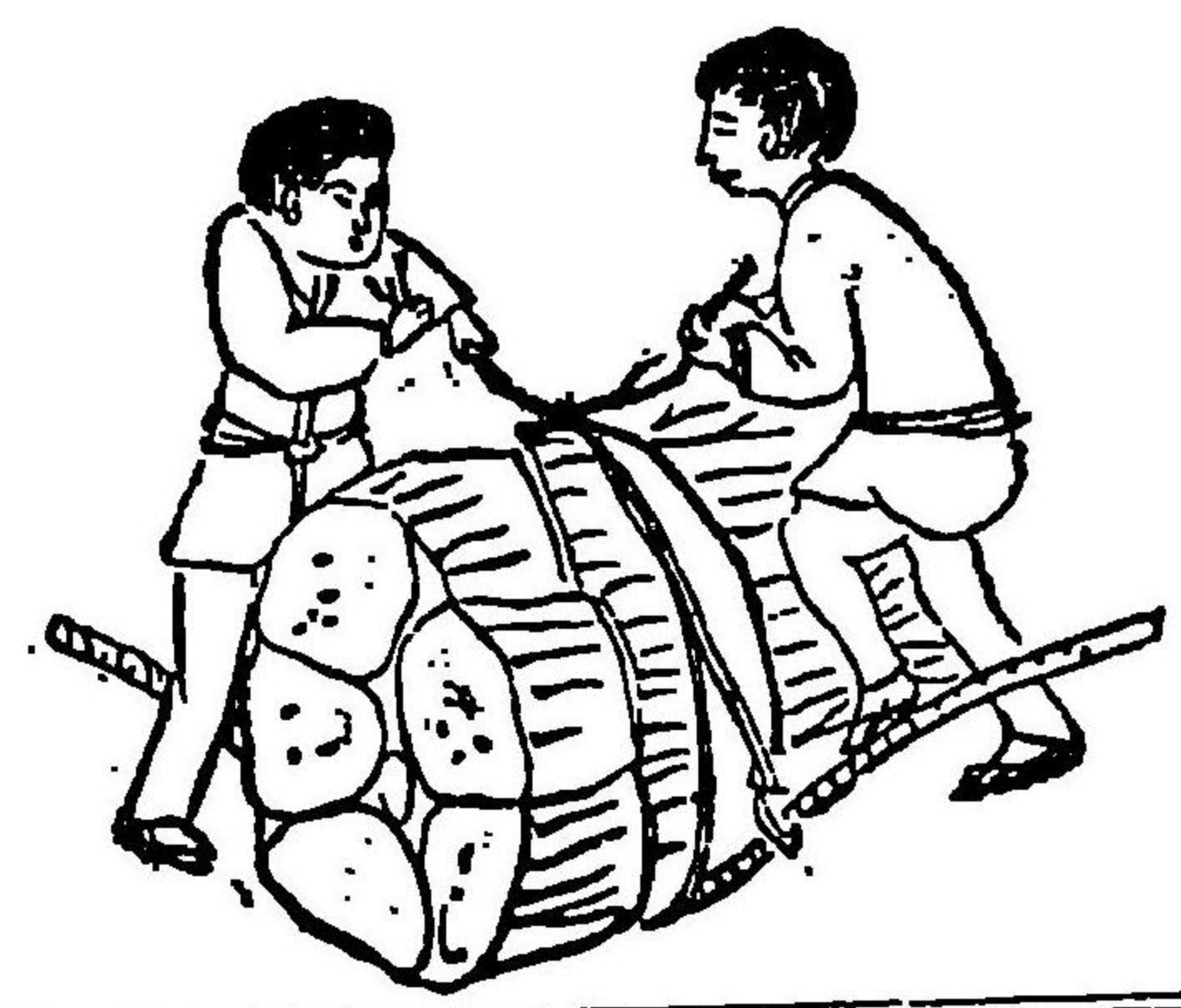
様ナスヘシ夏ハ土用後ニ至リ雜草ヲ手ニテ拔取ルヘシ次年日ハ四月
 上旬極メテ淺ク耕鋤シ夏ハ土用中ニ雜草等ヲ手ニテ拔キ取ルヘシ
 伐採ハ二年目又ハ三年目ニスルアリ然レモ最モ利益ニシテ皮質善良
 ナルハ二年目即チ第二回ノ夏ヲ經タルモノヲ伐採スルニアリ植付ヨ
 リ二年目ニ初切ヲナシ順次隔年ニ太キ三椏ノミ伐採シ細キモノハ次
 回ニ殘シ置クヘシ斯スレハ株ノ保存方久シキニ堪ヘ且每期等分ニ收
 穫スルヲ得ルナリ收穫季節ハ十一月下旬ヨリ翌年三月末迄收納スル
 ヲ得ルモ一月中旬ヨリ二月中旬ヲ好期トス
 而シテ寒氣ノ甚シキ場所ハ春季ニ伐採ス
 ヘシ然ラザレハ嚴寒ノタメ切口凍リテ株
 ヲ害スルコトアルヘシ又伐リ方ハ小形ニ
 シテ且薄ク銳利ナル鎌(及先四寸柄ノ長サ
 尺八寸)ヲ用非ナルヘク平ヲカニ且日光



ク平カニ且日光ニ向フ様ニ伐ルヘシ
 伐採シケル生三椏ハ便宜五尺位ノ東トナシ蒸餾場ニ運搬シ蒸餾セテ
 ル前ハ切口ノ乾燥セサル様水中ニ立テ置クヘシ
 蒸餾場ハ三椏畑ニ接近シ日方ヲ宜キ水利ノ便ナル所ヲ撰ムヘシ電
 ハ其口ヲ巾八寸高サ一尺五寸位トシ内部二尺七八寸深サモ之ニ準シ
 堅固ニ且簡便ニ築造スベシ籠
 ノ左側ニ長二間半位ノ柱ヲ立
 テ之ニ横木ヲ釣シ其一方ヲ蒸
 桶ノ底ニ結束シ一方ニハ紐ヲ場
 付ケ其紐ヲ伸縮シテ蒸桶ヲ昇ノ
 降スルニ供ス
 蒸釜ハ(口徑二尺五寸ヨリ三
 尺七寸位)蒸桶ハ(口徑
 至四尺位)トス釜ト籠トノ間ハ粘
 土以上



土ヲ以テ密着セシメ水ノ洩出ヒサル様ニナシ此ニ蒸ヲ以テ作りタル
 輪大小二個ヲ重ネ置キ蒸桶トノ界ヨリ蒸氣ノ洩レサル様ニス此外手
 插柄杓等ヲ備ヘ尙荒目ノ筭ヲ置キ三椀ノ花ヲ釜ヨリ抄ヒ出スニ供ス
 三椀ヲ蒸割スルニハ先ツ釜ノ中ニ水五六斗ヲ
 入レ切置キタル小東五六束ヲ結テ大東トナシ
 之ヲ釜中ニ立テ蒸桶ヲ覆ヒ水ヲ沸騰セシムル
 コト凡一時間半内外ニシテ蒸熟ス其適度ヲ驗爲
 スルニハ蒸桶ヲ覆フホ一本ノ三椀ニ繩ヲ結ヒス
 付ケ置キ時間ヲ斗ヲ少ク桶ヲ上ケ繩ヲ引ク
 ハ拔出ヅ之ガ樹口ヲ扱リ廻シテ割キ見ルヘシ
 皮ト木ト容易ニ分レ又其皮ヲ横ニ引延シ見ルニ縷緯分離セシメテ縷
 状ニ延ヒルハ適度ナルモノナリ今一法ハ蒸桶ト釜輪(銅ニテ製シタルモノ)トノ間
 ニ蒸氣盛ニ洩出スルニ至リ香氣ヲ感スルホハ蒸熟シタルナリ此方ハ



大東トナシ

手數ヲ要セス且確實ナリ數回經驗セバ自
 然ト其度ヲ知ルヲ得ヘシ既ニ蒸熟シタル
 ホハ蒸桶ヲ釣上ケ掛替ヲナスヘシ此場合
 ニハ能ク釜中ノ三椀花ヲ抄ヒ去ルヘシ又
 釜中ニハ新ナル湯ヲ補足シ前ノ如ク仕掛皮
 タルナリ次回ノ蒸熟スル迄ニハ前ノ分ヲ割
 割キ終ルヘシ釜場ニハ必ス相應ノ乾竿ヲ
 備ヘ割キタル皮ハ一疊ヲ位ニテ元ノ方ヲ
 蒸ニテ結ヒ乾竿ニ倒垂シ乾燥セシムヘシ
 右ノ如クスルコト二日間ヲ經ハ少シク乾
 クヲ以テ今回ハ小東三四束ヲ中央ヨリ少
 シク先キ即チ六分位ノ所ヲ同皮ヲ以テ結果シ前ニ反シテ掛ケ直シ
 二結ヒタル筭ヲ切り套ルヘシ斯クテ一日程乾シ次日ヨリハ地上(登尺



五六寸上リニ架ヲ造リ其上ニ駢へ乾スヘシ四五日ヲ經ハ充分ニ乾燥ス乾燥ノ不充分ナルモノハ歐ヲ生スルノ憂アリ注意シテ能ク乾スヘシ他方へ運搬スルニハ白皮ニ製スルヲ良トス是ハ客積ト重量トヲ減スルヲ以テ運搬ニ便利ナルノミナラス運賃ヲ大ニ減スルノ利益アリ且婦女子ニテ製スルヲ得ルモノナレバ他ノ仕事ヲナスヨリモ割合ヨキ賃銀ヲ收入スルヲ得現今當地方ニ於テ黒皮三拾貫ニシテ五拾錢乃至六拾錢ヲ支拂フ上等製ナレバ男一人女二人ヲ要スルモ先ツ女三人ニテ仕上ルナリ

白皮ノ製法ハ黒皮ヲ六時間乃至十時間清水(流水ヲ良トス)中ニ浸シ桑カニナルヲ待テ引上ゲ一本ツ、竹小筒ニ挿シ引キ剝クナリ流レナキ地ハ溜水ニ浸シモ可ナレモ毎日水ヲ交換スルニアラサレバ大ニ皮ノ光澤ヲ損ス竹小筒ニテ剝キタル皮ハ再ヒ小包丁ニテ粗皮(外色ト眞皮トノ間ニアル膏色ヲ帯ヒク)傷所等ヲ削リ剝クヘシ之ヲ精撰ト云フ質ノ良否ニヨリ黒皮

三拾貫ニシテ白皮拾二貫乃至拾三貫久ヲ得此乾燥方ハ黒皮ノ如クナスヘシ

白皮拾貫目ニシテ製紙五貫目ヲ得即チ黒皮壹駄(三拾貫)ニシテ六貫ニ三百匁アル製紙ヲ得ルナリ

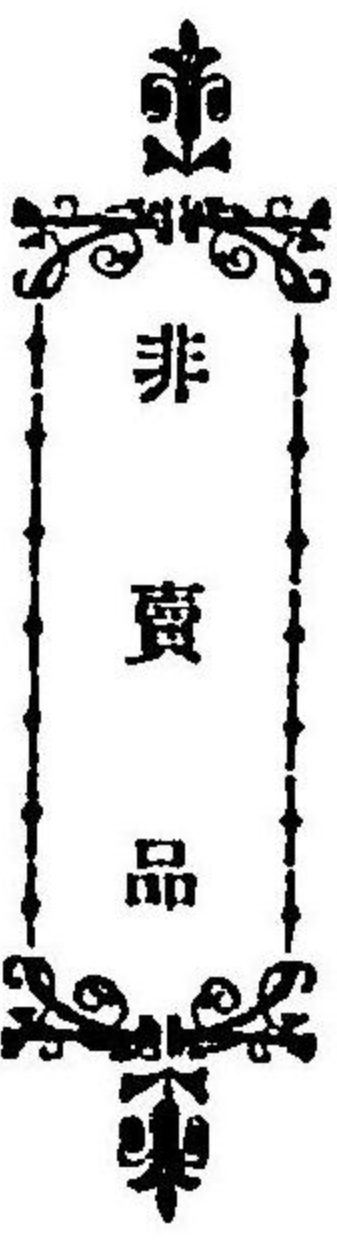
抄 録

- 一 三極種子一升ニテ良苗壹万五千乃至貳万本ヲ得
- 一 苗畑ハ壹反歩ニ種子六升ノ割合ヲ以テ播下スヘシ即チ種子壹升ヲ五拾坪ニ播下スルコト
- 一 苗木ハ山畑壹反歩ニ五千乃至六千本ヲ植付得ヘシ山ノ勾配ニヨリ急ナルモノハ少ナク緩ナル個所ハ多ク植ユルナリ大約一坪ニ拾五六株以上トス植付ハ種子ノ播下ト反シ寧ロ厚キニ失スルヲ可トス
- 一 種子一升ヨリ得シ處ノ苗ハ三反歩ニ植エルヲ得ヘシ是レヨリニ

年目即第二回ノ夏ヲ經テ伐採スルトキニハ百八拾貫匁ノ黒皮ヲ
 得壹駄(參拾貫)九圓トスレハ金五拾四圓ヲ得ルナリ
 三極ノ栽培ハ製茶若クハ養蠶ノ如ク短期日間ニ非常ノ繁忙ヲ來スコ
 トナク其從業スル時期長ク亦壯夫ヲ要セス男女老若皆業ニ就クヲ得
 ヘキヲ以テ規模ヲ大ニスレハ植付ヨリ培養收納其他採薪等年中從事
 スルヲ得極メテ利益アル植物ナリトス(完)

(明治三十年三月十日誌)

明治三十年七月九日印刷
 明治三十年七月十五日出版



静岡縣庵原郡三百卅七番地紙業組合所書記

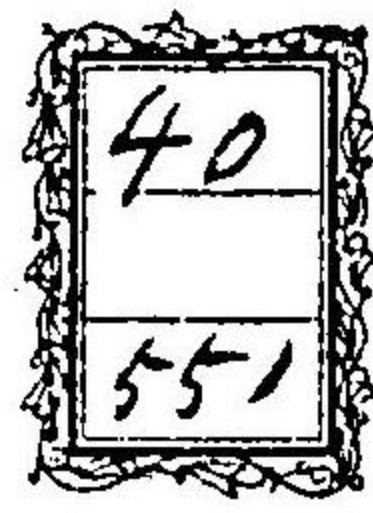
編輯兼發行人 吉田正一

静岡縣静岡市吳服町三丁目一番地

印刷人 向嶋定吉

静岡縣静岡市吳服町三丁目一番地

印刷所 函右社



工-35-51

甲 函 本 城

鎮岡縣鎮岡市吳組田三丁目一番地

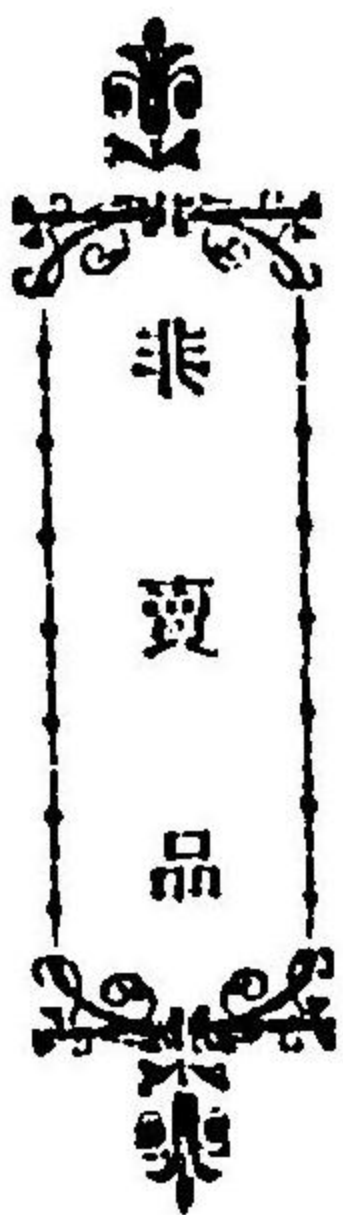
甲 傭 人 向 訓 家 吉

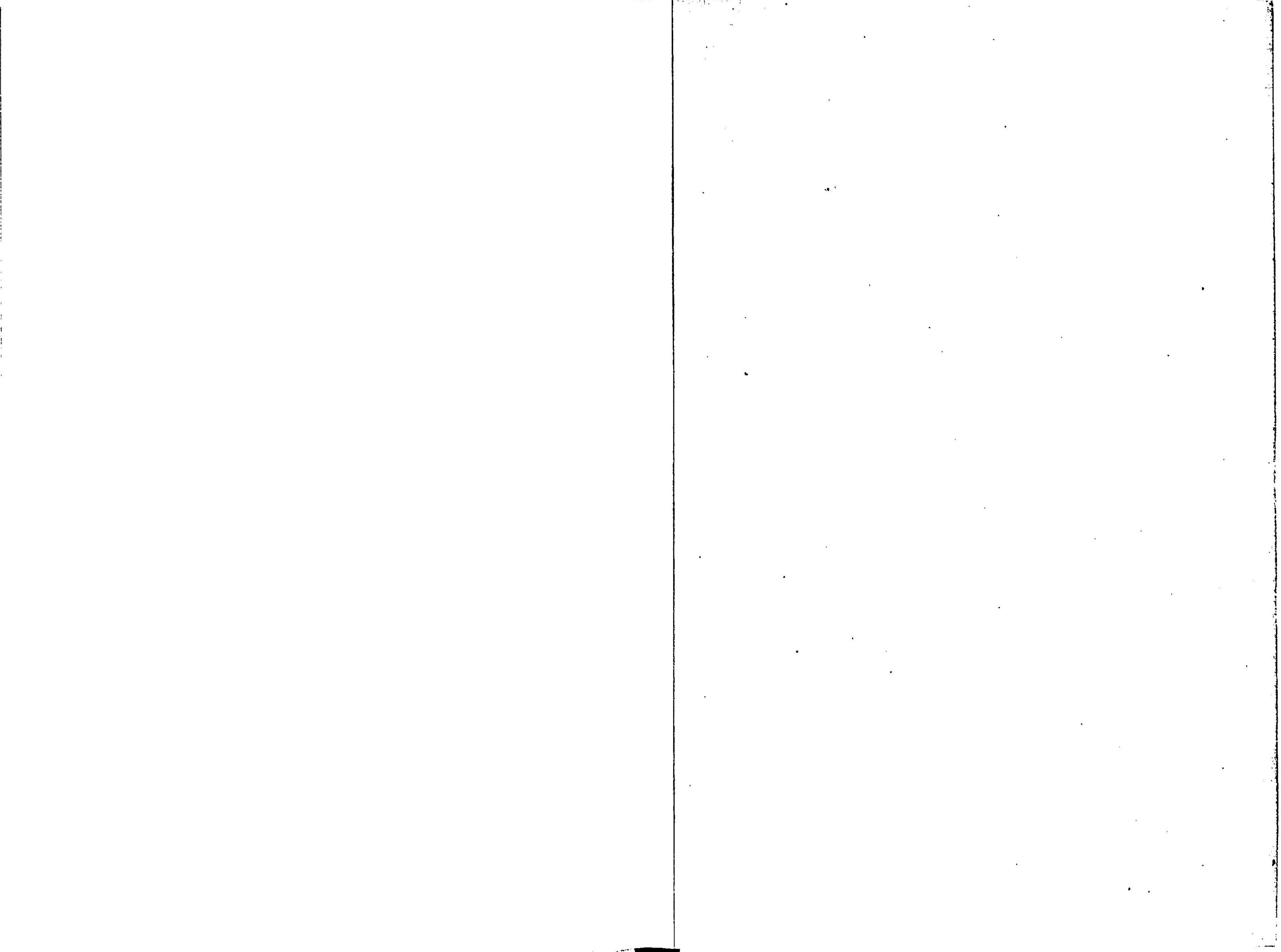
鎮岡縣鎮岡市吳組田三丁目一番地

論 兼 發 行 人 吉 田 五 一

鎮岡縣鎮岡市吳組田三丁目一番地

即 此 三 十 年 十 月 十 五 日 出 版





40
551

三極栽培要録

国立国会図書館

062987-000-7

40-551

三極栽培要録

吉田 正一／編

M30

CCA-2066

